

国際シンポジウム

アジア太平洋地域の情報アクセシビリティ

主催	財団法人 C&C 振興財団 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM)
共催	森ビル株式会社
後援	総務省 (予定) 経済産業省 株式会社国際社会経済研究所 マイクロソフト株式会社 株式会社ユーディット
協力	株式会社ビー・ユー・ジー
日時	2004 年 1 月 22 日 (木) 10:00 ~ 17:15
会場	六本木ヒルズ 49 階 アカデミーヒルズ スカイスタジオ http://www.roppongihills.com/

ご挨拶

2004 年 1 月 22 日、国際大学グローバル・コミュニケーション・センターと C&C 振興財団は、「国際シンポジウム アジア太平洋地域の情報アクセシビリティ」を開催いたします。シンポジウムの主要議題は、高齢者や障害者を含むすべての人々による、情報通信サービス、ソフトウェア、機器のアクセシビリティです。(日英同時通訳、要約筆記)

このシンポジウムは、アジア太平洋地域の国々の現状紹介、ICT ユーザ、国際組織、政府、プロバイダ、ベンダー、学界を含む様々な参加者の意見交換、アジア太平洋地域における将来の協働枠組みの検討 を目的としております。

この画期的なシンポジウムに是非ご参加ください。

組織委員会

山田 肇, 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター副所長/東洋大学教授
河村 宏, 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部部长
中村広幸, 関西学院大学教授
関根千佳, 株式会社ユーディット社長
遊間和子, 株式会社国際社会経済研究所専任研究員

プログラム:

10:00- 開会の挨拶

小野田勝洋, 財団法人 C&C 振興財団専務理事

10:05- シンポジウム開催にあたって

山田 肇, 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター副所長 / 東洋大学教授

10:15- キーノートスピーチ トランスナショナルな電子情報共生社会の実現をめざして

石川准, 静岡県立大学教授

10:45- 休憩

10:50- プレゼンテーション

アジア太平洋地域のアクセシビリティの現状

モデレーター 山田 肇

プレゼンター Mateo A. Lee Jr, NCWDP, フィリピン
Gunela Astbrink, TEDICORE, オーストラリア
Wantanee Phantachat, NECTEC, タイ
Seongil Lee, Sungkyunkwan University, 韓国
-- 討論

12:50- 休憩(昼食)

13:45- プレゼンテーション

日本の情報アクセシビリティの現状

モデレーター 関根千佳, 株式会社ユーディット社長

プレゼンター 武田博之, 総務省情報通信政策局情報通信利用促進課デジタル・ディバイド企画官
坂井喜毅, 経済産業省産業技術環境局情報電気標準化推進室室長
細田和也, マイクロソフト株式会社
遊間和子, 株式会社国際社会経済研究所専任研究員
和田卓二, 日本 IBM 株式会社 アクセシビリティセンター
-- 討論

15:45- 休憩

16:00- グローバルに考える

モデレーター 中村広幸, 関西学院大学教授
Monthian Buntan, タイ視覚障害者協会事務局長
Ken Nakata(ビデオレーター) 米国
-- 討論

17:00- 閉会の挨拶

公文俊平, 学校法人国際大学グローバル・コミュニケーション・センター所長

お問い合わせ: itplat@glocom.ac.jp